

英国の太陽光発電、順調な拡大の一方で政策転換の影響も¹

新エネルギー・国際協力支援ユニット

新エネルギーグループ

英国政府によれば、国内の太陽光発電（PV）導入量は近年、順調に拡大している。一方で、政府は大規模 PV 設備の拡大を抑制し、導入の主軸を中小規模のルーフトップ・システムに移行させる方針を打ち出しており、これが再生可能エネルギー全般に対する支援制度の変更と相まって、今後の導入拡大に影響を与えそうだ。

英国エネルギー気候変動省（DECC）は 6 月下旬、国内の再生可能エネルギーの導入状況に関するデータ²を公表した。それによると、太陽光発電の累積導入量は 2013 年第 2 四半期からの 1 年間で 61% 増、発電量は 77% 増となり、再エネ導入拡大の主な原動力となった。特に直近の 2014 年第 1 四半期の拡大が目覚ましく、前四半期からの再エネ設備容量の増加分 1.1GW のうち、およそ 3 分の 2 を太陽光（主に大規模 PV）が占めた³。

英国は季節を問わず曇天続きのイメージが強いが、ソーラーポテンシャルは決して低くない。日射量は 120W（TH）/m²未満で、スペインや北アフリカと比較すると数分の 1 に過ぎないものの、PV 導入量世界第 1 位のドイツに匹敵する。英国は今年、欧州最大の PV 市場になると予想されており、2014 年 4 月時点で 325 箇所ものメガソーラーが完成し、現在も内外の開発会社による大規模 PV プロジェクトが多数進行している。

DECC は今年 4 月、EU 加盟国で初となる独自のソーラー戦略を発表した。2020 年までに 20GW の PV 導入を目指す同戦略のポイントは、導入の重点を地上設置型の大規模太陽光発電施設から屋根に設置するルーフトップ設備に移すとしている点である。DECC は戦略策定に当たり、全国の商業施設や工場には太陽光発電に適した南向きの屋根が合計 25 万ヘクタール相当あるとして、これらの屋根の利用に力を入れると述べた。

上記戦略の発表から 1 ヶ月後の 5 月 13 日、DECC は、大規模 PV が「当初予想したよりもず

¹ 本稿は経済産業省委託事業「国際エネルギー使用合理化等対策事業（海外省エネ等動向調査）」の一環として、日本エネルギー経済研究所がニュースを基にして独自の視点と考察を加えた解説記事です。

²

https://www.gov.uk/government/uploads/system/uploads/attachment_data/file/323261/6_Renewables.pdf

https://www.gov.uk/government/uploads/system/uploads/attachment_data/file/323429/Renewable_energy_in_2013.pdf

³ 2014 Q1 末時点の累計 PV 設備容量は 3.5GW、全再エネに占める割合は 17%となっている。

っと早いペースで導入されている」として、2015 年 4 月 1 日以降、5MWを超える新設のPV 施設に対するグリーンエネルギー証書（ROC）制度を廃止する方針を明らかにした⁴。

ROC の廃止は、再エネに対する政府の政策転換を反映している。政府は再エネの支援スキームを、現行の ROC から、電力市場での取引をベースとした差額決済契約による固定価格買取制度（Contracts for Difference:CfD）に切り替えようとしており、太陽光発電も目下、制度の過渡期に立たされている。前述した直近四半期の PV 導入量急増は、制度の変更を見据えた駆け込み需要に追うところも大きい。

さらに、7 月半ばに発表された Greg Baker エネルギー気候変動相の突然の辞任も、今後の PV 導入拡大に影響を与える可能性がある。同大臣は、再エネの補助金削減による訴訟問題や省エネ施策の目標未達成の責任を問われる形で辞任に追い込まれたとされる。Baker 氏は、2020 年までに 20GW の PV 導入を目指すソーラー戦略の実現を「個人的な野望」と呼んでいたが、今後同氏が戦略の実施に直接関わることはなくなった。

調査機関 NPD Solarbuzz によると、新たな政府の方針により、目下多数の地上設置型大規模 PV プロジェクトの見直しが行われているという。今後数年間の見通しとして、現在の英国の PV ブームは当面続くと思われるが、政府の支援規模が縮小される 2015 年をピークに、その後は下降に転じると Solarbuzz は予想している。

お問い合わせ : report@tky. ieej. or. jp

⁴ 5MW 未満の小規模ソーラーファームに対しては、2015 年 3 月まで ROC1.4 を与え、累積導入量の上限も設定しない。2015 年 4 月から 2017 年 3 月までは、このサイズ・カテゴリーへの ROC は前回設定された地上設置型 PV の ROC と同じ水準に据え置かれ、最終的にはキャパシティ・ベースの上限が設けられる可能性がある。